

# 私から見た和歌山

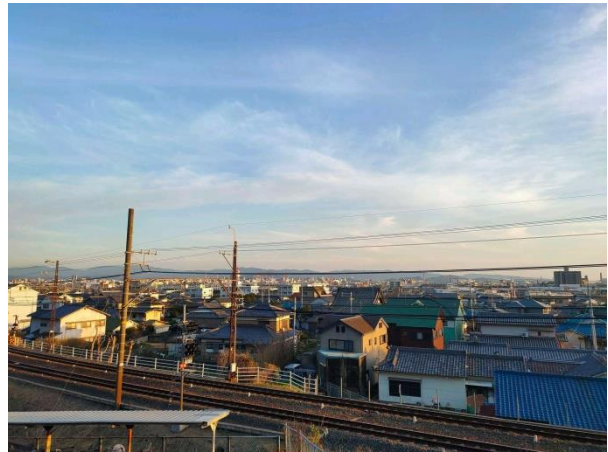
チョウ マンマン

日本語・日本文化研修留学生 中国

和歌山に来て、もう八か月ほど経った。私は、初めて日本に来て、和歌山大学で勉強しながらいろいろな人と交流しているうちに、多くのことを学ぶだけではなく、新しい分野の知識にも触れられて、本当に幸せだと思う。この数ヶ月、私は休暇や余暇を利用して、友だちと那智や白浜、高野山など世界でも有名なところへ旅行にも行った。

では、これから私の目に映った和歌山について話したいと思うのだ。

まず、「和歌山」の語源は、古くからの名勝地である和歌浦と昔この地は岡山と呼ばれていたことから名付けられた。日本最大の半島である紀伊半島の西側に位置し、南北に長い和歌山県は、海と山に恵まれ、豊かな天然資源を持っている。瀬戸内海式気候として、比較的温暖な気候であるが、年間を通じて天気や湿度が安定しており、全体的に快適な感じがする。また、古くから「木の国」と謳われたほど山林が多く、紀伊水道や熊野灘を挟んで変化に富んだ海岸線が続く。このような深山幽谷の地形から高野山開基による仏教寺院や熊野三山などの神社信仰が発達しており、その一方で中世から近代にかけては紀ノ川沿岸を中心に全国から見ても大規模な都市が形成されていた。



今でもはっきりと覚えているのは、日本に来たばかりの時、関西国際空港から南海電車に乗り換えて和歌山に来る途中、私の胸の中は緊張と期待の気持ちでいっぱいだった。だが、次の瞬間私は感動せずにはいられないシーンに出会った。それは電車の窓から見る夕日の残光が海面に降りそそぎ、水面はまるで金色に満ちたようにきらきらと輝いていた。本当に夢のようにきれいで、今でも忘れられない。



2月に、「Brush-up Program」という活動をきっかけにして親しくなった留学生の施さんと白浜に行った。青い空に白い砂浜、外国に来たみたいな感じでよかった。砂が細かく靴にめちゃくちゃ入るので、童心にかえて裸足で歩くのがオススメだと思う。柔らかい砂を踏んで、心地良い海の風に吹かれながらのんびりと散歩することは、本当に楽しくリラックスできるのではないだろうか。また、三段壁洞窟と言え、洞窟と

いう暗くて狭いイメージだったが、行ってみると全然違って波が凄い迫力で観られる素敵なスポットである。ここは地下にあって気温も低く外が暑かったので、天然の冷房のように涼しかった。本当に面白い旅行だったから、夏になったら、ぜひもう一度行きたいと思う。

和歌山と言うと、観光資源が本当に豊富であると思う。和歌浦の海岸風景、白浜の円月島や三段壁、熊野古道の天高くそびえる巨樹や熊野那智大社にある立派な建物などは、いずれも私に深い印象を残した。春休みの間に、何人かの友達と高野山に行った。高野山は、平安時代のはじめ、日本が生んだ偉大な聖人、弘法大師によって開かれた日本仏教の一大聖地である。現在は世界文化遺産として、「壇上伽藍」と呼ばれる根本道場を中心とする宗教都市を形成しているそうだ。私が行ったときはまだ寒かったし、雪がまだ溶けていなかったもので、霧雨の中で高野山の息づかいを深く感じていたことで、身体の汚れを落とし、魂まで浄化されたような気がした。それに、高野山の奥之院で「中吉」のおみくじを二枚引き、いい祈りを込めてその日程を終えた。このことは今も記憶に深く残っていて、私にとって非常に貴重な精神的財産だと言える。

旅行に行く以外に、留学生として和歌山で暮らしている。和歌山市といえば、和歌山城や和歌山大学を思い浮かべるかもしれない。和歌山城は徳川御三家の一つ紀州藩徳川家の居城であり、城跡は国の史跡に指定されている。これまで何度か和歌山城に行ったことがあるが、和歌山公園の桜などの景観も天守閣もきれいでお城から和歌山市を見下ろすこと



もできる。ところで、和歌山大学の学生としての生活は非常に充実しているし、日本語の知識を多く学ぶことができるだけでなく、豊富な日本文化に触れることもできて、日本人と友達になれて、本当にうれしく思う。また、交通の面では、和歌山は大阪や京都、奈良に近いが、南海電車に乗れば関西国際空港までわずか四十分ほどで行けるので、外出にはとても便利だ。

和歌山ではどこでも関西の特徴を持っているレストランが見られる。たとえば餃子の王将のように関西風のファーストフード店としても、スシローのような関西の和食としても、関西飲食の独特な情緒を感じさせられるのである。大阪を中心とする関西地域には、日本の味噌・醤油の発祥の地である和歌山や、古都の伝統的な食文化が生きる京都や奈良、ブランド牛でも有名な兵庫や滋賀などが隣接し、海・山・里から多種多様な食材が産出、加工されている。だから、以上のことから分かるように、関西では食文化が非常に発達していると言える。そして、関西人の性格にある情熱的なもてなしも店員と店の明るい雰囲気から感じられて、とても親切だと考える。

要するに、完璧ではないし、大都市の繁華さにも及ばないのだが、和歌山は独特の魅力を持っており、生活リズムも比較的緩やかで住みやすい町として多くの人に愛されている。だから、現在私は日研生として、毎日いろいろなものを体験して生活を送っており、和歌山での生活を大切にしている。本当にこの町が大好きだね！

# My view of Wakayama

ZHANG MANMAN

Japanese Studies Student / China

Wakayama is located on the west side of the Ji-yi Peninsula. It is long and narrow from north to south. Known as the "forest kingdom" since ancient times, numerous mountains, coastline, Buddhism and shrine beliefs are very developed. In particular, the coastal areas of Jizhichuan were the center, and large-scale cities were formed nationwide.

Speaking of Wakayama, tourism resources are very rich. I was deeply impressed by the coastal scenery in Hegpo, the full moon Island and the magnificent buildings in Kumano. During spring holidays, I went to Mount Koya, which was a very meaningful trip. Life in Wakayama city is really wonderful. We can not only learn a lot of knowledge, but also get in touch with the unique Japanese culture. When it comes to food, Wakayama has many kansai restaurants. People can not only feel the unique taste of Kansai food, but also feel the warmth of kansai people in the bright atmosphere of the staff and the store.

In a word, Wakayama is loved by many people for retaining its unique charm. Now, as a overseas student, I experience a variety of life while observing every day and enjoy every day here. I really like this city!

## 我眼中的和歌山

张 漫漫

日本語・日本文化研修留学生 / 中国

和歌山位于纪伊半岛的西侧，南北狭长，依山靠海，有着丰富的自然资源。这里气候温暖，四季如春。自古以来就被誉为“森林王国”，山地众多，海岸线连绵不绝，佛教及神社信仰十分发达。尤其是中世纪到近代以纪之川沿岸为中心，形成了全国范围内的大规模都市。

说起和歌山，旅游资源真的非常丰富。和歌浦的海岸风景、白滨的圆月岛和三段壁、熊野古道的参天巨树以及熊野那智大社的气派建筑等，都给我留下了深刻的印象。春假期间，我去了高野山见学参观。高野山是平安时代初期，由弘法大师开创的日本佛教的一大圣地。在和风细雨中仔细感受着高野山的气息，仿佛洗去了身体的污秽，连灵魂都得到了净化。

和歌山市交通便利，生活节奏缓慢，舒适宜居。我也去过几次和歌山城，不论是和歌山公园的樱花还是天守阁建筑都很漂亮，从楼顶甚至可以俯瞰整个和歌山市。另外在和歌山大学的生活也非常充实，不仅能学到很多日语知识，还能接触到丰富的日本文化，真的很开心。

说起饮食方面，在和歌山能看到很多具有关西特色的餐厅。不仅能让人感受到关西饮食的独特情趣，还能从店员和店里的明朗气氛中感受到关西人性格中的热情好客，倍感亲切。

总而言之，和歌山因保留着它独特的魅力而受到很多人喜爱。现在，我作为一名日研生，每天在观察的同时体验各种各样的生活，也享受在这里的每一天。真的很喜欢这个城市！